



蛭雪会報

茨城県立境高等学校同窓会会報

第 8 号

令和4年8月1日発行

(年1回発行)

発行所

茨城県立境高等学校

蛭雪会

茨城県猿島郡境町175

TEL 0280 (87) 0123

「ご挨拶」

同窓会会長 酒井義博



同窓会会員の皆様には、平素より温かいご支援・ご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

す。

さて、同窓会総会は、令和2、3年度と新型コロナウイルスの蔓延により開催を中止せざるを得ない状況が続きました。今年度も、未だ完全な収束には至らないものの、世の中は徐々に感染予防に気を配りながら従来の日常を取り戻す方向で動きつつあります。そのような状況の中、今年度の総会については、例年8月の第一日曜日と決めている開催日を延期して、12月4日(日)に開催することになりました。今回の招待学年は、今年還暦を迎える第33回生(全日制)・34回生(定時制)です。そして、この決定には、是非やってほしいという当該学年からの強い要望があったことを付記しておきます。また、コロナの状況次第によっては中止となることもあることは、ご承知おき下さい。

また、総会における本年度の議案につきましては、2ページに記載した組織の一部改変、役員新設と役員

改選の重要議案がありますが、それと、この会報の事業報告・会計報告をもって議案提出に替え、本年度も役員並びに事務局にて、本会業務及び調整を進めてまいりたく思います。そして、総会においては追認いただくというところでご了承下さいますようお願い申し上げます。

ところで、私儀、令和3年度をもつて同窓会会長の役を辞することにしたしました。長年の懸案であった組織の一部改変が出来たこと、会長就任時に始めた蛭雪会報発行の継続の目途がついたこと、それに加えて境高校は令和10年度に創立100周年を迎えますので、それへの準備は新体制の下で進めるのが望ましいと思うことなどが理由です。

在職8年間の長きに亘りご協力ありがとうございました。今後とも、母校の発展のためにご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

「ご挨拶」

学校長 池田 聡



同窓会長の酒井義博様はじめ、本部役員・支部長・代表幹事の皆様方、そして同窓会員の

りご支援・ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。境高校2年目となりました、校長の池田でございます。

さて、この境高校は今年で創立94年を迎える伝統のある進学校です。生徒たちはそれぞれの進路実現に向けて日々努力を重ねており、教職員も一体となつて熱心に指導しています。令和4年度入試では、国公立大学に10名が合格しました(茨城大学3名、宇都宮大学3名、千葉大学1名、山形大学1名、茨城県立医療大学1名、埼玉県立大学1名)。私立大学には延べ208名が合格をいただいています(中央大学、東京理科大学、法政大学、駒澤大学、日本大学、東洋大学、専修大学など)。コロナ禍の影響を大きく受けながら、最後まで諦めずに努力を続けてきた成果です。さらに看護医療系を含む専門学校や、就職・公務員の希望者も進路決定をいたしました。

また部活動も盛んで、境高校の「文武不岐」の精神を脈々と受け継いでおります。一昨年度は、野球部が第93回選抜高校野球大会の「21世紀枠」県推薦校に選出されました。昨年度は、陸上競技部・弓道部・吹奏楽部が全国大会に出場し、サッカー部・ソフトテニス部が県大会ベスト4(第3位)まで進出するという

活躍を見せました。

今後は、歴代の諸先輩方が築き上げた伝統をしっかりと受け継ぎながら、激動の社会に対応できる「人財」を育成して参ります。これまで同様、同窓会の皆様の変わらぬご理解、ご支援をお願い申し上げます。

提出議題

以下に、三つの議案を提出します。

議案一 組織の一部改変について

「支部」及び「支部長」を廃し、

「同窓会代表幹事」を置く。

(説明)

従来、同窓会活動を支える組織として「支部」があり、「支部長」が決められていました。しかし、長年、支部としての活動が行われていなかったため、今後の支部の在り方について令和3年12月10日に支部長会を行い検討しました。その結果、これから支部を立て直すのは不可能に近く、「支部」に変わる同窓会を支える組織を各回の卒業学年とする。但し、実働するのは還暦を過ぎた61歳から75歳までの各回生とし、各回の代表15名を同窓会代表幹事とする。」ということになった次第です。

代表幹事は、次のとおりです。

同窓会代表幹事

安井正博	高18	野口久雄	高26
中山富雄	高19	飯田進	高27
長野元明	高20	中田勝昭	高28
池上仁	高21	飯田正之	高29
関稔	高22	大木直人	高30
稲垣英世	高23	平井俊行	高31
芝田和則	高24	倉持功	高32
板垣隆	高25		

議案二 役員新設について

役員として、「校外幹事」を置く。人数は、若干名とする。

(説明)

同窓会の役員として「幹事」があり、これには「本校の卒業生で、本校職員」はすべて幹事となっています。これを、「校内幹事」と呼称しています。

しかし、卒業生の役員が手薄で、本部役員会なども少人数になつてしまうこともあり、実働できる数を増やそうということになりました。

議案三 役員改選について

令和4年度の役員を以下のとおりとする。

(*後日、同窓会会則の改訂をします。)

本部役員

名誉会長	池田 聡	校長
顧問	酒井義博	高12
会長	石山征夫	高14
副会長	猪瀬晴男	高19
神坂守男	高18	
菅谷 清	高24	
中村 仁	高24	
木村泰之	高25	
野村正昭	高26	
野口久雄	高30	
大木直人	高26	
監査		

校外幹事

幹事長(兼、副会長)	野村正昭	高26
幹事	宇都木とし子	高26
幹事	長谷川育代	高27
幹事	青木善市	高39

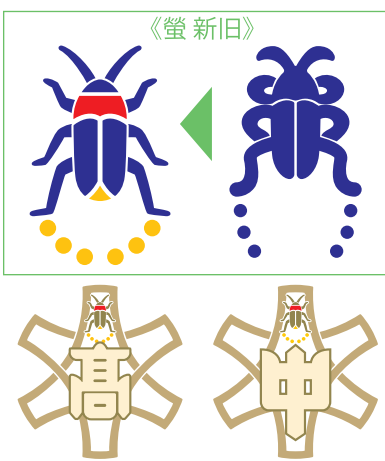
校内幹事

幹事長	岡田敦子	高33
幹事	木村和広	教頭
幹事	塚田芳美	事務室長
幹事	中山浩志	高31
幹事	酒井晶子	高34
幹事	萩原恵子	高36
幹事	飯塚美由紀	高40
幹事	徳永真澄	高44
幹事	羽石直樹	高60

皆様ご存知の通り、本校の校章は『蛭と雪』のデザインです。今回リニューアルしましたので、意図等を語っていただきました。

校章リニューアルデザインについて

境町在住デザイナー岡田秀二創立90周年記念式典に際し、校章デザインのリニューアルを承りました。旧版のデータは、拡大するとギザギザが発生してしまう、とのことで依頼を受け、どんなに拡大してもきれいな線で印刷できるように、ベクトルデータで作りました。雪の結晶部分は、上下左右のバランスや歪みを調整し、蛭部分は、より蛭らしくなるよう、形状と色をデザインしました。足を細くし、頭部・胸部・腹部を分離、胸部を赤、腹部下端を黄色にしました。光の丸は、円を描くように配置。配色パターンを変えて6種類のデザインを作成しました。また、中央が「中」の字のものも作り直しました。リニューアルした校章は、創立90周年の記念品：クリスタル文鎮・紙袋・クリアファイル・パンフレット：や、式典の際の吊り看板などに使用されました。リニューアルにより、カラー印刷、白黒印刷、ホームページ用など、様々な用途・サイズで使用いただけるようになりました。



令和3年度 茨城県立境高等学校同窓会事業報告

令和3年		令和4年	
4月1日(木)	同窓会校内幹事打ち合わせ	1月21日(金)	同窓会卒業生代表幹事説明会
4月19日(月)	同窓会報編集委員会	2月28日(月)	同窓会入会式・卒業記念品贈呈
5月24日(月)	陸上競技部関東大会	3月1日(火)	全日制普通科 第74回卒業式
5月28日(金)	・部活動奨励金		
7月5日(月)	弓道部全国大会		
7月7日(水)	同窓会本部役員会		
	・部活動奨励金		
8月1日(日)	同窓会報編集委員会		
9月1日(水)	吹奏楽部、弓道部関東大会		
	・部活動奨励金		
10月13日(水)	陸上部関東選抜新人大会、吹奏楽部日本管楽合奏コンテスト全国大会、日本クラシック音楽コンクール本戦		
	・部活動奨励金		
10月14日(木)	同窓会本部役員会		
	同窓会奨学生選考会議		
	同窓会奨学生奨学金交付式		
	(3名) (月額100000円)		
11月12日(金)	臨時同窓会本部役員会		
12月10日(金)	臨時同窓会本部役員会		
12月17日(金)	同窓会支部長会		
	臨時同窓会本部役員会		

令和3年度 茨城県立境高等学校同窓会決算書

収入総額 3,672,727円

支出総額 1,690,100円

差引残高 1,982,627円 (次年度へ繰越)

1.収入の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
会費	1,603,000	1,603,000	0	7,000円×229名
繰越金	2,069,294	2,069,294	0	令和2年度から繰越
雑収入	6	433	△427	預金利息14円、卒業学年会計から入金419円
計	3,672,300	3,672,727	△427	

2.支出の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	残額	備考
会議費	100,000	9,230	90,770	入会式役員昼食、支部長会議お茶
総会費	350,000	0	350,000	
事務費	20,000	0	20,000	
通信費	35,000	11,818	23,182	通知等郵送代
慶弔費	100,000	0	100,000	
卒業記念品費	400,000	320,100	79,900	卒業記念品代
生徒活動費	800,000	470,560	329,440	大学合格垂れ幕、部活動全国大会出場祝金
奨学金	1,074,735	360,000	714,735	奨学金10,000円×12月×3人
記念事業積立金	500,000	500,000	0	
予備費	292,565	18,392	274,173	境高校同窓会寄付プレート看板
計	3,672,300	1,690,100	1,982,200	

3.残 金

1,982,627円は次年度に繰り越します。

サッカー部



令和3年度 主な活動および大会等の実績

「文武不岐」

境高校の掲げる伝統あるスローガンです。「勉学に励む心」も「部活動に励む心」も、「心は一つ」であることを大切に充実した学校生活を送っています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で思うように練習ができなかったり、目標としていた大会が中止になってしまったりと、多くの困難が立ちほだかっています。しかし、どの部活もその困難を乗り越え、華々しい活躍をしています。

令和三年度は、全校高校サッカー選手権大会が記念すべき百回を迎えました。境高校サッカー部は、インターハイでの敗退をバネに、受験を控える三年生が、まさに文武不岐の精神で日々の練習に取り組み、二十一年ぶりの茨城県大会ベスト四に進出しました。ケーズデンキスタジアム水戸で行われた鹿島学園との一戦には、全校生徒が応援に駆けつけ、スタジアムを緑色に染めました。

主な戦績

【空手道部】

関東高等学校空手道大会茨城県予選会 出場
全国高等学校空手道選手権大会茨城県予選会 出場

【弓道部】

茨城県高等学校弓道春季大会兼関東大会茨城県予選会
男子団体・女子団体 出場／男子個人 飯塚 翔 3位
県民総体兼国体茨城県大会兼全国高等学校弓道大会茨城県予選会
男子個人 舟橋 優斗 優勝／女子団体 6位／女子個人 平石 智奏 6位
第六十六回全国高等学校弓道大会 男子個人 舟橋 優斗 出場
第四十回関東高等学校弓道個人選手権選抜大会 女子個人 平石 智奏 出場
茨城県高等学校弓道新人大会兼全国高等学校弓道選抜大会県予選会
男子団体・女子団体 出場

【剣道部】

第六十八回関東高等学校剣道大会茨城県予選会 個人・団体 出場
茨城県高等学校剣道新人大会 男子個人 一木 賢 四回戦進出(ベスト16)

【サッカー部】

関東高校サッカー大会茨城県大会 ベスト8
全国高校総体サッカー競技茨城県大会 出場
第百回全高校サッカー選手権大会茨城県大会 3位

【吹奏楽部】

第二十七回関東吹奏楽コンクール高等学校の部B部門 銀賞
第二十七回日本管楽合奏コンテスト高等学校S部門全国大会 優秀賞
第三十一回日本クラシック音楽コンクール 全国大会 野村 瑠星 出場

【ソフトテニス部】

茨城県高等学校ソフトテニス大会新人大会県大会 男子団体 ベスト8
茨城県高等学校ソフトテニスインドア大会兼関東高等学校選抜大会県予選会
男子団体 ベスト4

【硬式テニス部】

関東高等学校テニス大会茨城県予選会兼茨城県高等学校テニス選手権大会
男子団体・女子団体 ベスト16



全国高校総体テニス競技茨城県予選会 男子団体・女子団体 ベスト16

【卓球部】

関東高校卓球大会茨城県予選会 ダブルス出場
県民総体兼全国高校総体卓球県予選会 男子団体 ベスト8
茨城県高校卓球新人(団体戦)大会 女子出場

【バスケットボール部】

全国高校総体バスケットボール競技茨城県予選会 男子出場

【バレーボール部】

関東高等学校男女バレーボール大会県西地区予選会 男子・女子 第5位

【陸上競技部】

第七十四回茨城県高等学校陸上競技対校選手権大会
兼第七十四回北関東高等学校陸上競技対校選手権大会茨城県予選会
男子棒高跳び 西川 拓翔 3位・大関 柊士 6位
令和三年度関東高等学校陸上競技大会 男子棒高跳び 西川 拓翔・大関 柊士 出場
第二十五回関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会 男子棒高跳び 大関 柊士 出場
第六十二回茨城県高等学校陸上競技新人大会
兼第二十五回関東高等学校陸上競技選抜新人大会茨城県予選会
男子棒高跳び 島田 真裕 3位

【野球部】

第七十三回春季関東地区高等学校野球茨城県大会 出場

主な活動

【応援団リーダー部】

第五回茨城県境高等学校蛭雪応援団演技披露 「蛭雪の集い」
茨城県応援団聯盟演技披露 「霊峰の下に」開催

【水泳部】

所属クラブでトレーニングし、各大会へ出場

【英語部・演劇部・科学部・茶道部・写真部・書道部・文芸部】

校内発表会における発表 等

令和三年度卒業生の進路状況

令和三年度第三学年主任 岡田 敦子(高33)

平成31年4月に入学して、令和に改元、この春卒業していった生徒たちについてご報告させていただきます。本学年は、「進路実現」を学年目標に掲げ、学習指導担当のマネシメントによる、三年間を見通した学習計画に沿った指導を行って参りました。新たに、GTCOから実用英語技能検定に切り換えての指導、Oss.の導入なども実施いたしました。その結果、英検は準2級104名・2級27名・準1級1名が合格。Oss.では全国7位・県内1位の動画視聴時間を担保し、コロナ禍における学びの保障に繋げることもできました。

本学年の新たな取り組みは、ベネッセコーポレーション主催の低学年向け事例研究会で二年続けて取り上げられ、先進校視察の依頼も受けました。三年間の取り組みの甲斐あって、今年度は、学校型選抜(公募制)および総合型選抜での受験者・合格者が増え、一般受験でも成果を挙げました。全体の進路決定者率は、98.68%です。入学当初から「なりたい自分になる」ことを意識させての指導の中、熟考して進路を選び、自ら積極的に動いて進路決定をしていく生徒が多かった学年といえます。

大学進学実績としては、今年度は国公立大学合格者が5年ぶりに二桁10名の合格となりました(すべて現役生徒)。うち6名は一般受

験合格です。特に、難関千葉大学合格に関しては、英検資格準1級の取得が後押しとなりました。主な大学名や受験方式の割合につきましては、下記別表をご参照ください。また、本校公式ホームページには、合格者の大学・短大名、学部名、専門学校名、就職先企業名をすべて掲載しております。

専門学校進学では、看護系・医療系・ビジネス系・理美容系・調理栄養系・工学系等々、多種多様な分野に進学しております。いずれも、将来を見据え、やり甲斐や適性に基づき見学会・説明会に参加し、他校と十分に比較検討した上で、受験し、進学してまいりました。

就職では、1名が公務員、8名が一般企業に就職しました。いずれも入学当初より就職を希望していた生徒たちです。求人票をよく検討し、保護者もしっかりと相談のうえ、希望した会社に採用が決まりました。

令和4年度入試 主な合格大学(延べ人数:すべて現役合格)

【四年制大学 受験方式別集計表】

	一般	総合型	学校推薦 (公募)	学校推薦 (指定校)
国公立大 10名	6名 60%	0名 0%	4名 40%	—
難関・中堅私大 38名	20名 52.6%	3名 7.9%	0名 0%	15名 39.5%
主要私大 56名	27名 48.2%	3名 5.4%	4名 7.1%	22名 39.3%
その他私大 114名	42名 36.9%	16名 14.0%	7名 6.1%	49名 43.0%
全体 218名	95名 43.6%	22名 10.1%	15名 6.9%	86名 39.4%

【英検取得状況】

	人数
準1級	1名
2級	27名
準2級	104名
3級	96名

※実用英語技能検定

国公立大学(10名)

千葉大学	1
茨城大学	3
宇都宮大学	3
山形大学	1
茨城県立医療大学	1
埼玉県立大学	1

四年制私立大学(208名)

東京理科大学	1	東洋大学	12	立正大学	2
中央大学	1	日本大学	6	大正大学	4
法政大学	3	駒澤大学	1	大東文化大学	5
成蹊大学	1	専修大学	3	東海大学	3
國學院大学	1	工学院大学	2	亜細亜大学	1
明治学院大学	4	東京電機大学	6	帝京大学	2
獨協大学	4	文教大学	12	国土館大学	10
武蔵野大学	1	千葉工業大学	8	獨協医科大学	1

過去5年間の大学合格者数

入試年度	国公立大学			私立大学
	現役生	既卒生	合計	
令和4年度入試	10	0	10	208
令和3年度入試	7	0	7	183
令和2年度入試	4	1	5	195
平成31年度入試	7	2	9	224
平成30年度入試	6	1	7	223

※難関・中堅私大(国学院・駒澤・成蹊・専修・中央・東京理科・東洋・獨協・日本・法政・武蔵野・明治学院)
※主要私大(亜細亜・工学院・国土館・大正・大東文化・千葉工業・帝京・東海・東京電機・獨協医科・文教・立正)

串間先生の思い出

青木 登(高1)



昭和31年4月に境高校に入学し、部活はバスケットボール部に入り、串間先生と出会いました。先生は私より10歳位年上で現役バリバリで活躍していました。部員は、12、15人いました。練習は体操から始まり、フットワーク、鬼跳び(現在は、鬼跳びはひぎの故障になるのでやらない)、練習試合などの毎日でした。あまり強いチームではありませんでした。が、県大会に出場したことも記憶にあります。先生には、毎日熱心に指導いただきました。

とが出来ないほど足が痛かったことを覚えています。活動を通して、部活の仲間も多くできました。3年間はあつという間に過ぎ、串間先生にバスケットボールの指導を受けたお陰で、社会に出てからも精神面でも体力面でも強く生きられたと感謝しています。その後先生は、他校に転勤して定年を迎えたと聞いておりました。私は、境高を卒業して会社に勤め、定年退職をした平成13年3月に、偶然にも42年ぶりに、また、串間先生と出会うことが出来ました。それは、グラウンド・ゴルフです。当時、先生はグラウンド・ゴルフは新しいスポーツで、これから広く普及していくスポーツになると見通して、すでにルールの講習を受け、境町の人たちに指導していました。私も、先生の「ふれあい友の会」に入会し指導を受け、仲間との交流を通してグラウンド・ゴルフの楽しさを知りました。そうして、記録会の年間成績を出したりして、会の組織の充実を計ってきました。年々会員も増え80名くらいになったので、先生は、もう一つの会「みどり会」も立ち上げました。グラウンド・ゴルフで先生と10年間一緒に過ごすことが出来、楽しい人生を過ごしております。



S34.境高校バスケットボール部
前列右端、串間先生

先生は、高校ではバスケットボール部の指導、一般社会においてはグラウンド・ゴルフの普及・発展に貢献しました。本当にみんな先生には感謝しています。ありがとうございました。追記…平成20年3月にバスケットボール部OB会を設立し、境高校バスケットボール部の諸活動を支援しました。会は、平成27年に解散しました。会員の皆さん、ご協力ありがとうございました。

シカゴの友人のこと

染谷 清志(高1)



今を去ること40余年前、私が国税庁調査課で海外取引調査関係の仕事を担当していたとき、IRS(米国税庁)で国際調査専門官の研修があるので行ってこいとの指示があった。私は米出国出張は2度目であり、研修の内容にも興味があったので、直ちに了解し、同研修に参加することになった。研修はニューヨーク・マンハッタンのはななき、ワールド・トレード・センタービルに近い連邦ビルの3階で行われた。受講生はシカゴ以東の国税局調査官30余名と外国人(私)一人であった。それから約10年後、私は役所を退職。国税庁時代の上司が運営していた外資系税務会計事務所のパートナーとして新しく勤めることになった。その会計事務所で米国の本部に行つて研修をしないか、と

の誘いがあった。その本部はシカゴにあった。シカゴからは私が最も親しくしていた研修生が来ていた。彼は、いろいろ私の面倒をみてくれ、ミシガン湖畔でのアメリカ独立記念日の祝祭における音楽会や花火大会と一緒に楽しんだり、シカゴの生活を楽しむことができた。彼に日本に来たことがあるか聞いたところ、6歳の頃だったか、奈良、東京へ行つたことがあるのとのことだった。彼はユダヤ教信者であり、6歳当時リトアニアに住んでいたが、ナチスのユダヤ人狩りが始まった。彼の家族は危険を感じ、リトアニアを脱出して日本経由で米国へ渡ることになった。ところが、当時日本の領事館は、日本経由で米国へ行くためのビザを発行してくれなかった。しかし、何回も交渉しているうちに、後に有名になった「杉原千畝」がビザを発行してくれ、ようやく米国へ渡ることができ、彼一家は命拾いをしたというのであった。日本に来たのはこの時ということになる。当時、彼が私に対して種々取り計らってくれたのには、そ

んな背景があつたからなのかと感動したものである。

その後、私は米、英、仏、独、等に仕事の関係で行くことができた。こういうことが出来るようになったのも考えてみれば境高校の英語の先生をはじめ、各科の先生の心温まる教育を受けることができたからであると感謝の念に耐えない。また、11期生12期生との心温まる交友があつたからに違いないと過ぎし昔に思いをいたす次第である。

平和

中山 富雄(高19)



「光陰矢の如し」と申しますが、振り返れば浦島太郎ではないが、まさにその通りです。

気が付いたら、卒業して55年。来年は後期高齢者です。同級生、級友で何人か亡くなりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。入学した年は昭和39年、ア

ジアでは初めて「平和の祭典」「東京オリンピック、パリオリンピック」が開催され、日本中は活気に満ちあふれ、多くの選手が大活躍しました。

体操男子では5個の金メダル、女子バレーボールは「東洋の魔女」の大活躍で金メダルに輝き、国中が沸きたちました。日本人以外の活躍も目覚ましく、男子マラソンではエチオピアのアベベ選手がオリンピック2連覇を達成。今回初めて採用された柔道では無差別級でオランダのヘーシング選手が金メダルに輝きました。語ればきりがありません。

オリンピックを境にして日本の経済は急成長し街中が好景気となり国民の多くが豊かさを感じていた時もありました。

いつしかバブル経済は泡と消え去り、今は見えない敵、コロナと世界中が戦っています。

そんな中、昨年2回目のオリンピックが無観客で開催されました。前回のオリンピックを知っている私にとりましては淋しい限りです。アスリートたちは全力で競技に臨み、

美しい演技や、死力を尽くして勝敗を決する姿がテレビで放映されました。「感動」有難う。

在学中一番の思い出は、京都、奈良の修学旅行でした。嬉しくて何日も前から眠れませんでした。奈良で鹿の餌やり、京都で、神社、仏閣詣で、中でも10円玉硬貨に描かれている平等院鳳凰堂は、左右同じ形の建築物でその美しさに感動した。極め付きは、金閣寺、銀閣寺です。今でもその姿を鮮明に覚えています。思い出の写真は白黒で写っていました。

旅先の思い出はもちろんのこと、旅行の前日友達の家泊めていただき、たいそうなおもてなしを受けたのも昨日のようです。

部活動は柔道部に入りました。指導は、紅白の帯を締めた高段者の木村先生でした。毎日投げられ受身は上手になりました。先輩たちとは乱捕りの練習で、投げ技、寝技の稽古をしていただき、そのおかげで忍耐強い人間に成長できたと思っております。隣では剣道部の人たちが、面、小手と大声を出して稽古に励ん

でいる姿が脳裏に残っています。

卒業後は農家のセフテーネットに関する仕事に従事しました。大きな自然災害で被害にあつた農家の経済損失を補填し、農家経営の安定に寄与するお手伝いを、定年までさせていただきました。

その後は、地域の役員や、ボランティア活動にも参加しました。ここまでこれたのも高校の3年間で、先生や友人に恵まれたのが原動力となっています。

今年は戦後77年、沖縄は日本復帰50年の節目の年です。

「まさか」この21世紀に戦争が起きています。ウクライナでは残酷な戦争が起きて、国の存亡の危機にあります。日本もいつ攻められるかわかりません。憲法の見直し作業が始まっています。平和が子や、孫の世代まで永久に続くような日本国家でありたいものです。一人一人が平和について考える時ではないでしょうか。平和はただではなさそうです。

最後に境蛩雪会の発展をお祈り申し上げます。

懐かしい日々

中久喜しず子(高21)



我が家の庭には樹齢200年とも推定される古木があります。今、ロシアによるウクライナ侵攻が止みませんが、この日本にも77年前経験した悲惨な戦争の歴史をこの古木は目の当たりにしてきたことを思うと先の人々の歩んだ道の険しさを身にしみて感じます。

戦争を知らない世代に生まれ、高度成長期にあつた昭和41年私は境高校に入学しました。当時「階段教室」と呼ばれていた教室での「倫理・社会」の授業を思い出します。奥原先生と記憶していますが、先生は教壇に上がると最初にこの教科のことを「倫理ポツ社会」と言つては教室内を和ませ、流暢な愉快な授業でよく笑わせて下さったことを思い出します。そしてある時「人間は何のために生き

「ているのか」と問われたことがあります。これまでの私は、生きることへの疑問を抱くことなど全くなかったのです。これを機に「生きる意味・生きる目標」について真剣に考えるようになりました。

私の中でもうひとつ忘れられない言葉との出会いがあります。それは「一人の人生はひとつしか生きられない。だから、多くの本を読んで多くの人の人生を自分のものにしてしまえ」と教えて

下さった奥貫先生の言葉です。卒業と同時に私は地元金融機関に就職しました。高度成長期にあつた当時は例えば預金金利が一時年利8%を計上した時期もありました。業務も月末、年度末ともなれば真夜中まで続くことが当たり

前で、今では到底考えられないような環境でしたが、こんな時でさえ私は苦痛に感じる

ことがありませんでした。この頃はきつとお二人の先生の言葉が常に脳裏にあつたから

かもしれません。

つい最近のような気がしますが、12年前の還暦の同窓会

も楽しい思い出です。何十年ぶりの再会でしたが、顔を

見るなり瞬時心は高校生の頃に

戻りました。一次会は勿論二次会、三次会と続けてもまだ名残惜しく、私たちのクラスは2ヶ月後には一泊旅行を計画、実行しました。自社のバスを提供し自ら運転してく

れた友のおかげで、バスのなかでも会話が弾み旅館ではまるで修学旅行のような楽しい時間を過ごしたことを懐かし

く思います。

そろばんが主流だった私の就職当時と比べ、今は誰でもパソコンで世界に繋がれるようになりました。長い時間が過ぎたことを改めて感じさせられます。特に身近なスマホ機能は本当に便利になりました。ロサンゼルスに暮らす私の孫と顔を見ながら直接会話できる機能には、すぐ傍にいる安心感さえ覚えひと時幸せな気分になってくれています。

昭和45年8月、高校生活最後の夏休みのある夕方、アルバイト先から帰宅し自宅から乗り出した原付バイクで走行中、右側から飛び出して来た車に衝突され、何が起きたか理解出来ないまま入院となりました。

右足の複雑骨折による痛みで毎日が辛く、時折見舞ってくれる元氣一杯の同級生を、不謹慎にも恨めしく思う毎日を過ごしていました。

当時は医療技術も進歩していなかった為か手術後に傷は悪化し、転院を余儀なくされる羽目になり、前途の暗さを悲観したものでした。全治

で8ヶ月を要してしまつたため当然出席日数が足らず、高校生活は1年間の留年が決定し、結構落ち込んでいました。

しかし、クラス仲間との一緒の卒業こそは叶いませんでしたが、1学年下の方々と翌年、無事に卒業でき、お蔭で2学年に亘り同級生に恵まれるという、あまり例のない高校生活を送ることが出来まし

た。

完治したのは成人式を過ぎた頃、その年に奉職した地方

公務員を35年間勤め、還暦を前に思うところがあり早期退職、退職から古希を迎えた現在まで、自身の町内の小さな役から始まり、殆んどボランティア的な役割を担い日々こなす中、沢山の人々と出会った貴重な経験を積むことが出来ました。その中で、人と人との繋がりの大切さを改めて知り、徐々に、自分は周囲から「生かされている」という実

感を得ることが出来ました。

今、70歳という節目を迎え、穏やかな毎日を送る中で、高校生活を含めた人生を振り返った時に、あの留年した高校の4年間は自分としては辛く感じていたが、決して無駄ではなく現在に大いに生かされているのでは、とつくづく思っています。

生かされて

中村 仁 (高23)



高校時代

長谷川育代 (高27)

わたしの高校時代という

思い浮かぶのは、部活動で仲間と過ごした日々です。当時わたしは、ソフトテニス部に所属していました。その当時

今では一般的な硬式テニス部はありませんでした。学校の授業が終わるとほぼ毎日、土日

日も部活動がありました。屋外のテニスコートのため、真

つ黒に日焼けしていました。テニスに青春を賭けようとかそんな風ではありませんでした

が、強くなりたいと思っていました。そんな中で部活動のメンバーと過ごした日々は、今でも懐かしく思い出

します。何故かプレーで汗を流している場面よりも、当時校内にあつた合宿所で寝泊まりし、お風呂に入つて騒いだり、肝試しをして夜の校舎内をこわごわ巡ったりしたことが思い出されます。部活動の後はい

いたい学校裏の小さな駄菓子屋さんに寄り、みんな

でチーズかまぼことファンタを飲みながら暮れていく空をぼー

っと眺めていました。夕焼け

の空が、夕焼けの空をぼー

と眺めていました。夕焼け

の空が、夕焼けの空をぼー

と眺めていました。夕焼け

の空が、夕焼けの空をぼー



空のオレンジ色が目に染みて印象的でした。

卒業してからは、みんなそれぞれ自分の道へとばらばらに進んでいきました。就職、進学、また結婚と。各自が自分の場所を見つけ大人へと成長し、そして人生という時間を過ごしました。

わたしたち同期のテニス部メンバーは、高校を卒業してからも毎年集まり、会食をしながら思い出や近況を語り合い親交を深めてきました。それは、高校を卒業してから何十年たった今でも変わりなく続いています。近年は時間を繰り合わせて旅行などもできるようにになりました。

高校時代が「青葉繁れる青春」ならば、今は「黄色い枯れ葉が混じる白秋」ともいえる時代に入ってきてしまいましたが、友と人生の歩みを語らい、まだ残っている未来へと夢を語らう。高校時代は、今に続く友だちという大きな財産を得た貴重な時代でした。



渋谷屋根裏でライブした高二の夏

鈴木 知徳 (高33)



入道雲とワシヤワシヤと鳴く蟬の声。ここは境高そばの農道。ワイシャツ姿で旭町から長井戸までの農道を汗だくでひいひい言いながらリヤカーを引つ張る男子高校生達。新しいバンド練習所となる納屋まで引つ越しなのです。リヤカーにはギターアンプとドラムセット。畑のど真ん中に立つ防音設備ゼロの納屋で、週3日学校帰りにせつせと練習に励んだのでした。

地味に過ごした高校時代。覚えていいるのはバンドメンバーになりライブで3回演奏したことです。ベースの私が参加したのはツェッペリン、キッス、ピーター・ダンプ、サザンオールスターズ、松山千春！を練習曲にした同級生バンド。半年かかってどうやら形になってきた。よしライブやろう。

古河市公会堂、猿島町盆踊りの屋台ステージを経て3回目のライブは、なんと東京渋谷ライブハウス「屋根裏」！あの忌野清志郎が唄つてた伝説のライブハウスです。

渋谷？渋谷つてどこだよ。古河駅から往復1200円もするぞ。1979年夏休み、東京なんかめつたに行くチャンスのない我々に同級生が応援兼ねてわらわらと一緒に来てくれた。

渋谷はビルでかい店がたくさん。無断で借りた兄貴のサングラスとアロハでキメて東京女子をナンパしてる猛者な同級生。ミルクシェイクを生まれて初めて飲んであまりのうまさに腰抜かした奴(俺)大都会を堪能しました。

屋根裏の会場は物凄く狭いのびつくり。境高の教室の半分もない。ステージに立つとギターボディの真前にお客さんの顔面がある。

さて肝心のライブ、緊張しすぎて覚えていません。そう、三曲目に演奏が中断して会場をしーんとさせました。あれから四十数年かあ。

昔、定年式で聞いたある先生の言葉が今でも忘れられない。

『過ぎたものは全て美しい』

いい言葉だ。いつか口にしてみたいがまだまだ先のようです。

六十代なんて若いし。楽器もまだ弾いている。境高で十代を過ごして良かったなと。

地域貢献

野口富太郎 (高39)



境高等学校を卒業して35年、これといつて部活動に熱を入れたのではなく、勉学に励んだのではなく、境小学校、境一中、境高と進んで、日本大学商学部、静岡・東京にて丁稚奉公をし、家業の茶業を継ぐ。確か大学卒業の年が、バブル崩壊直前の年でした。

高校2年生の時に何故か生徒会副会長に選ばれ、友人が面白おかしく「代々長男には太郎を襲名し、熊太郎、松太郎、徳太郎、盛太郎、そして富太郎」なんて選挙活動の時に援護スピーチをするものだから、これを受けての当選

でした。宇宙生物同好会というアウトドアのクラブに入り、日光などにクロスカントリースキー、カヌー製造などしプールに浮かべたのを覚えてい

る。最近あらためて、この境町に生まれ、この境町で地域のための仕事ができるということとは、幸せなんだと実感する。橋本町長に声を掛けられ、境町観光協会長という大役をさせてもらってますが、当時引き受ける時に考えたことは、弊社は地域に育てられ140年目の年でした。会社や自分の利益のためではなく、地域のために活動できることは素晴らしいことだと受けさせていただきました。

商売は地域が成長しないと自社の成長も難しいと言われます。「宿命に生まれ、運命に挑み、使命に燃える」小淵恵三元総理大臣が良く口にした言葉です。

自分に与えられた宿命を全うしつつ、地域活性化のために果敢に挑み、使命感を持って境町がもつと発展するよう貢献していけたらと思っています。



賛助金協力者芳名

7月1日現在
(内旧姓)

氏名	卒年	落合徹	高41
伊藤(古中)瞳	高11	相沢勝司	高21
50000円		70000円	
富張重信	高6	猪瀬晴男	高19
20000円		木村泰之	高25
小松原康之助	高6	60000円	
酒井義博	高12	中久喜榊場徳子	高32
15000円		50000円	
遠藤恒雄	高12	秋葉アキラ	旧職員
小野口清一	高13	齋藤靖夫	旧職員
12000円		石塚浩啓	中14
稲田力	高60	松原俊二	中17
10000円		菊地長吉	高5
中嶋鉄郎	旧職員	小林宏子	高5
海野光雄	中14	野口宣英	高5
加藤英二	中15	荒瀬圭介	高6
針田(高島)桂治	高2	鈴木新平	高8
木村訓夫	高3	細野常重	高9
針替道子	高3	木村節子	高10
高橋伸哉	高5	玉野昇	高10
平田武	高9	木村(風見)紀子	高11
山中勇	高10	飯塚弘道	高12
遠西(飯沼)栄子	高11	菊地重夫	高12
遠藤裕子	高12	白砂秀男	高12
風見幸雄	高12	高島弘子	高12
染谷清志	高12	野口修平	高12
永井信博	高12	橋本壮一	高12
岩本明	高13	峯芳己	高12
石塚(榊場)栄以	高14	大谷光輝	高13
小林(飯田)勝代	高16	小平(渡辺)康子	高13
森谷光男	高17	松沼茂	高13
樋崎成俊	高18	石山征夫	高14
菅谷文夫	高19	下河邊栄晃	高14
青木文夫	高21	染谷昇吾	高15
落合順二	高21	岡田猛彦	高16
森誠	高21	鈴木(金久保)久子	高17
沼田傳	高22	皆川浩也	高18
久保孝	高32	新井順	高20
生出文男	高35	田村公二	高20
吉田洋明	高36	忍田悦志	高21
落合徹	高41	廣澤(金久保)幸子	高21
80000円		吉田文夫	高21
70000円		新井(鶴見)房子	高22
50000円		金子進	高23
20000円		五十嵐千代子	高24
15000円		菅谷清	高24
10000円		吉羽昌子	高25
50000円		吉田定雄	高26
30000円		大木直人	高30
20000円		染谷光則	高33
15000円		木村(石塚)秀伯	高34
10000円		吉澤哲也	高40
50000円		酒井(染谷)紗織	高52
30000円		榎圭太	高67
20000円		塩田清七	高23
15000円		須賀(関口)好江	高24
10000円		金谷敏則	高25
50000円		木村行雄	高25
30000円		鈴木敬正	高25
20000円		石山巖	高26
15000円		生井香代子	高26
10000円		生井義雄	高27
50000円		飯田正之	高29
30000円		石綿洋子	高29
20000円		下村啓徳	高31
15000円		下村(藤井)ひとみ	高31
10000円		西尾英土志	高31
50000円		平井俊行	高31
30000円		松田(栗田)由美子	高32
20000円		前崎(前崎)明子	高33
15000円		小木(金子)昭吾	高38
10000円		野口和明	高39
50000円		野口(佐怒賀)由美子	高39
30000円		古谷章	高39
20000円		新井健一	高42
15000円		篠崎淳一	高44
10000円		篠崎(島田)美和	高44
50000円		篠原(島田)亮	高45
30000円		清田聡	旧職員
20000円		小関日出男	旧職員
15000円		田村信男	高12
10000円		知久和雄	高12
50000円		坪野(塩森)米三	高13
30000円		赤荻豊蔵	高14
20000円		大里時雄	高14
15000円		山本(戸塚)龍子	高14
10000円		倉持建雄	高16
50000円		斉藤啓三	高16
30000円		小泉(中村)康	高17
20000円		相良正	高17
15000円		中島盛	高17
10000円		中島輓之	高18
50000円		和田賢次	高18
30000円		風見全一	高18
20000円		高塚秀夫	高19
15000円		鈴木高雄	高19
10000円		塚田一雄	高19
50000円		広田久	高21
30000円		大坂(榊場)忠量	高22
20000円		大沼健一	高23
15000円		栗田幸一	高24
10000円		鯉淵源一	高25
50000円		高橋政芳	高25
30000円		行川(張替)征子	高25
20000円		関義治	高26
15000円		和田(木村)節男	高26
10000円		楠本(飯田)通子	高27
50000円		諏訪明緒	高29
30000円		野口野口洋子	高29
20000円		岩本峯正	高31
15000円		江田義明	高31
10000円		関根高司	高31
50000円		原(粕川)まさい	高31
30000円		内海宗男	高32
20000円		小川幸二	高33
15000円		風間勝昭	高38
10000円		染谷正之	高39
50000円		服部光俊	高39
30000円		今井輝勝	高39
20000円		鈴木稔	高42
15000円		諏訪豊	高44
10000円		門谷谷榮	高44
50000円		神坂守男	高45
30000円		木村卓司	旧職員
20000円		倉持敏活	旧職員
15000円		田村信男	高12
10000円		知久和雄	高12
50000円		坪野(塩森)米三	高13
30000円		赤荻豊蔵	高14
20000円		大里時雄	高14
15000円		山本(戸塚)龍子	高14
10000円		倉持建雄	高16
50000円		斉藤啓三	高16
30000円		小泉(中村)康	高17
20000円		相良正	高17
15000円		中島盛	高17
10000円		中島輓之	高18
50000円		和田賢次	高18
30000円		風見全一	高18
20000円		高塚秀夫	高19
15000円		鈴木高雄	高19
10000円		塚田一雄	高19
50000円		広田久	高21
30000円		大坂(榊場)忠量	高22
20000円		大沼健一	高23
15000円		栗田幸一	高24
10000円		鯉淵源一	高25
50000円		高橋政芳	高25
30000円		行川(張替)征子	高25
20000円		関義治	高26
15000円		和田(木村)節男	高26
10000円		楠本(飯田)通子	高27
50000円		諏訪明緒	高29
30000円		野口野口洋子	高29
20000円		岩本峯正	高31
15000円		江田義明	高31
10000円		関根高司	高31
50000円		原(粕川)まさい	高31
30000円		内海宗男	高32
20000円		小川幸二	高33
15000円		風間勝昭	高38
10000円		染谷正之	高39
50000円		服部光俊	高39
30000円		今井輝勝	高39
20000円		鈴木稔	高42
15000円		諏訪豊	高44
10000円		門谷谷榮	高44
50000円		神坂守男	高45
30000円		木村卓司	旧職員
20000円		倉持敏活	旧職員
15000円		田村信男	高12
10000円		知久和雄	高12
50000円		坪野(塩森)米三	高13
30000円		赤荻豊蔵	高14
20000円		大里時雄	高14
15000円		山本(戸塚)龍子	高14
10000円		倉持建雄	高16
50000円		斉藤啓三	高16
30000円		小泉(中村)康	高17
20000円		相良正	高17
15000円		中島盛	高17
10000円		中島輓之	高18
50000円		和田賢次	高18
30000円		風見全一	高18
20000円		高塚秀夫	高19
15000円		鈴木高雄	高19
10000円		塚田一雄	高19
50000円		広田久	高21
30000円		大坂(榊場)忠量	高22
20000円		大沼健一	高23
15000円		栗田幸一	高24
10000円		鯉淵源一	高25
50000円		高橋政芳	高25
30000円		行川(張替)征子	高25
20000円		関義治	高26
15000円		和田(木村)節男	高26
10000円		楠本(飯田)通子	高27
50000円		諏訪明緒	高29
30000円		野口野口洋子	高29
20000円		岩本峯正	高31
15000円		江田義明	高31
10000円		関根高司	高31
50000円		原(粕川)まさい	高31
30000円		内海宗男	高32
20000円		小川幸二	高33
15000円		風間勝昭	高38
10000円		染谷正之	高39
50000円		服部光俊	高39
30000円		今井輝勝	高39
20000円		鈴木稔	高42
15000円		諏訪豊	高44
10000円		門谷谷榮	高44
50000円		神坂守男	高45
30000円		木村卓司	旧職員
20000円		倉持敏活	旧職員
15000円		田村信男	高12
10000円		知久和雄	高12
50000円		坪野(塩森)米三	高13
30000円		赤荻豊蔵	高14
20000円		大里時雄	高14
15000円		山本(戸塚)龍子	高14
10000円		倉持建雄	高16
50000円		斉藤啓三	高16
30000円		小泉(中村)康	高17
20000円		相良正	高17
15000円		中島盛	高17
10000円		中島輓之	高18
50000円		和田賢次	高18
30000円		風見全一	高18
20000円		高塚秀夫	高19
15000円		鈴木高雄	高19
10000円		塚田一雄	高19
50000円		広田久	高21
30000円		大坂(榊場)忠量	高22
20000円		大沼健一	高23
15000円		栗田幸一	高24
10000円		鯉淵源一	高25
50000円		高橋政芳	高25
30000円		行川(張替)征子	高25
20000円		関義治	高26
15000円		和田(木村)節男	高26
10000円		楠本(飯田)通子	高27
50000円		諏訪明緒	高29
30000円		野口野口洋子	高29
20000円		岩本峯正	高31
15000円		江田義明	高31
10000円		関根高司	高31
50000円		原(粕川)まさい	高31
30000円		内海宗男	高32
20000円		小川幸二	高33
15000円		風間勝昭	高38
10000円		染谷正之	高39
50000円		服部光俊	高39
30000円		今井輝勝	高39
20000円		鈴木稔	高42
15000円		諏訪豊	高44
10000円		門谷谷榮	高44
50000円		神坂守男	高45
30000円		木村卓司	旧職員
20000円		倉持敏活	旧職員
15000円		田村信男	高12
10000円		知久和雄	高12
50000円		坪野(塩森)米三	高13
30000円		赤荻豊蔵	高14
20000円		大里時雄	高14
15000円		山本(戸塚)龍子	高14
10000円		倉持建雄	高16
50000円		斉藤啓三	高16
30000円		小泉(中村)康	高17
20000円		相良正	高17
15000円		中島盛	高17
10000円		中島輓之	高18
50000円		和田賢次	高18
30000円		風見全一	高18
20000円		高塚秀夫	高19
15000円		鈴木高雄	高19
10000円		塚田一雄	高19
50000円		広田久	高21
30000円		大坂(榊場)忠量	高22
20000円		大沼健一	高23
15000円		栗田幸一	高24
10000円		鯉淵源一	高25
50000円		高橋政芳	高25
30000円		行川(張替)征子	高25
20000円		関義治	高26
15000円		和田(木村)節男	高26
10000円		楠本(飯田)通子	高27
50000円		諏訪明緒	高29
30000円		野口野口洋子	高29
20000円		岩本峯正	高31
15000円		江田義明	高31
10000円		関根高司	高31
50000円		原(粕川)まさい	高31
30000円		内海宗男	高32
20000円		小川幸二	高33
15000円		風間勝昭	高38
10000円		染谷正之	高39
50000円		服部光俊	高39
30000円		今井輝勝	高39
20000円		鈴木稔	高42
15000円		諏訪豊	高44
10000円		門谷谷榮	高44
50000円		神坂守男	高45
30000円		木村卓司	旧職員
20000円		倉持敏活	旧職員
15000円		田村信男	高12
10000円		知久和雄	高12
50000円		坪野(塩森)米三	高13
30000円		赤荻豊蔵	高14
20000円		大里時雄	高14
15000円		山本(戸塚)龍子	高14
10000円		倉持建雄	高16
50000円		斉藤啓三	高16
30000円		小泉(中村)康	高17
20000円		相良正	高17
15000円		中島盛	高17
10000円		中島輓之	高18
50000円		和田賢次	高18
30000円		風見全一	高18
20000円		高塚秀夫	高19
15000円		鈴木高雄	高19
10000円		塚田一雄	高19
50000円		広田久	高21
30000円		大坂(榊場)忠量	高22
20000円		大沼健一	高23
15000円		栗田幸一	高24
10000円		鯉淵源一	高25
50000円		高橋政芳	高25
30000円		行川(張替)征子	高25
20000円		関義治	高26
1			

須藤忠	高15	関根利男	高19	青木(金井)希久子	高25	渡邊紀子	高45
津山忠雄	高15	田島勇	高19	幾野(中山)千恵子	高25	並木淳一	高46
中村亨	高15	田村景司	高19	稲毛田中利男	高25	星真弓	高47
橋本(落合)常七	高15	田村荒井久子	高19	落合幸子	高25	猪瀬正紀	高48
岩佐俊一	高16	中村太一	高19	倉持富男	高25	海老原忠広	高49
木下(青木)公子	高16	野口(野口)若枝	高19	神達(木村)玲子	高25	岩井直樹	高49
関健治	高16	深栖唯光	高19	小森(串間)紀子	高25	江澤哲也	高49
張替洋伸	高16	細谷源明	高19	佐怒賀清子	高25	杉山和久	高49
若松弘道	高16	石塚光男	高20	館野(佐藤)敬子	高25	松田稔弘	高49
岩瀬茂呂(昇司)	高17	石塚衛	高20	田中寿彦	高25	真中麻子	高49
江面光山(あや子)	高17	菅谷健二	高20	鶴巻みい子	高25	森田塚本智子	高49
大原(中西)絹江	高17	山中(遠井)克統	高20	永塚(宇都木)和子	高25	廣田(渡邊)智美	高51
木村利男	高17	青木忠司	高21	萩原(大野)礼子	高25	木村裕美	高52
倉持(杉原)富美子	高17	荒井幸男	高21	三ツ泉(中村)道子	高25	中村ゆかり	高52
櫻井明	高17	上園(森)恵美子	高21	山本(茂呂)節子	高25	飯田(金沢)英美子	高54
並木文雄	高17	大里均	高21	猪瀬忠男	高26	古橋みどり	高54
沼尾(鹿野)谷哲子	高17	齊藤(船橋)きよみ	高21	猪瀬(松美)洋子	高26	石塚(中村)幸子	高55
野口(堀米)みね子	高17	鈴木嗣史	高21	木村信之	高26	岡崎孝夫	高55
野村好弘	高17	関口敏雄	高21	塚田清	高26	幸田義浩	高57
山崎(飯塚)幸子	高17	中村喜美代	高21	五島勇	高26	藤井久弘	高57
新井(渡辺)一子	高18	根本和也	高21	沼田誠	高26	石塚(大塚)あゆみ	高57
石川直子	高18	野村恵子	高21	丸山(青木)三枝子	高26	大塚(小平)勝美	高59
大野(石川)良子	高18	若旅武	高21	吉川(青木)絹子	高26	近藤裕子	高60
奥原信	高18	和田孝行	高21	落合孝	高27	武笠義彦	高63
小島(五島)百合子	高18	木村均	高22	関(池田)澄子	高27	上原一浩	高64
落合満	高18	木村(山中)美智子	高22	根本(関根)美佐子	高27	佐古亜樹子	高65
佐野俊導	高18	野口(五島)二三子	高22	福島一嘉	高27	山口昭宏	高66
鈴木行雄	高18	野村光造	高22	岸本(海老沢)清子	高28	野口英男	高67
土橋(青木)とよ子	高18	藤本顯了	高22	篠原(杉野)しづ江	高28	木村正	高67
中岡孝	高18	伊藤(羽部)圭子	高23	鈴木清	高28	鯉淵清晃	高67
成島清	高18	大久保(木村)鏡子	高23	鈴木章司	高28	瀬戸口染谷由美子	高67
橋本一	高18	小島勝	高23	中村(神崎)和子	高28	西田勝彦	高67
平田(林)由紀子	高18	林(資延)三千子	高23	平田隆	高28	田村智子	高67
堀脇(織原)綾子	高18	秋田数男	高24	細野章	高28	牧野(金久保)初江	高67
前田(高島)弘子	高18	大瀧塚原(緑)	高24	金久保(美)	高29	吉田洋	高68
増田景一	高18	大野稔	高24	倉持(福垣)佐登子	高29	渡邊修	高68
松浦貞夫	高18	金久保優	高24	五ヶ谷(幸一)	高29	三富博也	高68
吉原建治	高18	北村(倉持)公子	高24	逆井勇	高29	石山藤一	高68
若旅久	高18	小田辺光博	高24	富岡(中山)君子	高29	神谷(藤治)美香	高68
宇都木章	高19	逆井一	高24	福地(関)高子	高29	小野寺誠	高68
大久保修	高19	富岡(中山)君子	高24	八幡(鶴巻)ふき子	高29	平田一恵	高68
小野里みち子	高19	福地(関)高子	高24	青木和之	高29	田村秀子	高68
神坂相良(治代)	高19	八幡(鶴巻)ふき子	高24				
木下(北島)次男	高19						
小林(古沢)豊	高19						
島田(鈴木)あや子	高19						



「総会延期」のお知らせ

8月7日(日)開催の予定を、12月4日(日)に延期します。

賛助金の報告とお願い

会報発行の費用(賛助金)について、会員の皆様からご協力をいただき感謝申し上げます。昨年の蛭雪会報第7号発行に關わる費用の内訳は、別表のとおりです。

3、これまで一度でも、賛助金をお送りくださった方。会報は、発行と同時に、境高のホームページにも掲載しますので、右の発送の対象外の方はホームページでご覧ください。

昨年は、発送対象を限定してお送りした結果、剰余金が出、今後の発行継続の見通しも立ちました。

今回も、1口、1000円でご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、複数口のご協力をいただければさらにありがたいと思います。

第8号の発送の対象も、前年同様で以下の通りとします。

1、現・旧職員。

2、還暦(満60歳)を過ぎた学年

学年

賛助金の収支		
収入	1,442,380	郵便振替 (563名)
	34,677	前回の残高
収入合計	1,477,057	
支出	751,791	発送等
	380,952	編集・印刷
	12,353	手数料等
支出合計	1,145,096	
残高	331,961	

験しました。3回のワクチン接種が功を奏し幸い軽症で済みはしましたが、その間予定していたスケジュールは総崩れで多くの関係各位にご迷惑を掛けてしまいました。

ご活躍を拝見し、後ろ向きになりがちな気分がスッと晴れる思いになりました。

実は私もこの6月にコロナに感染してしまい、濃厚接触扱いと合わせて約2週間の療養を経

これまでの規制が少しずつ緩和されてきていますが、同窓生の皆様も今一度感染対策を見直していただき、健康に過ごされますことをお祈りいたします。

編集委員 木村泰之